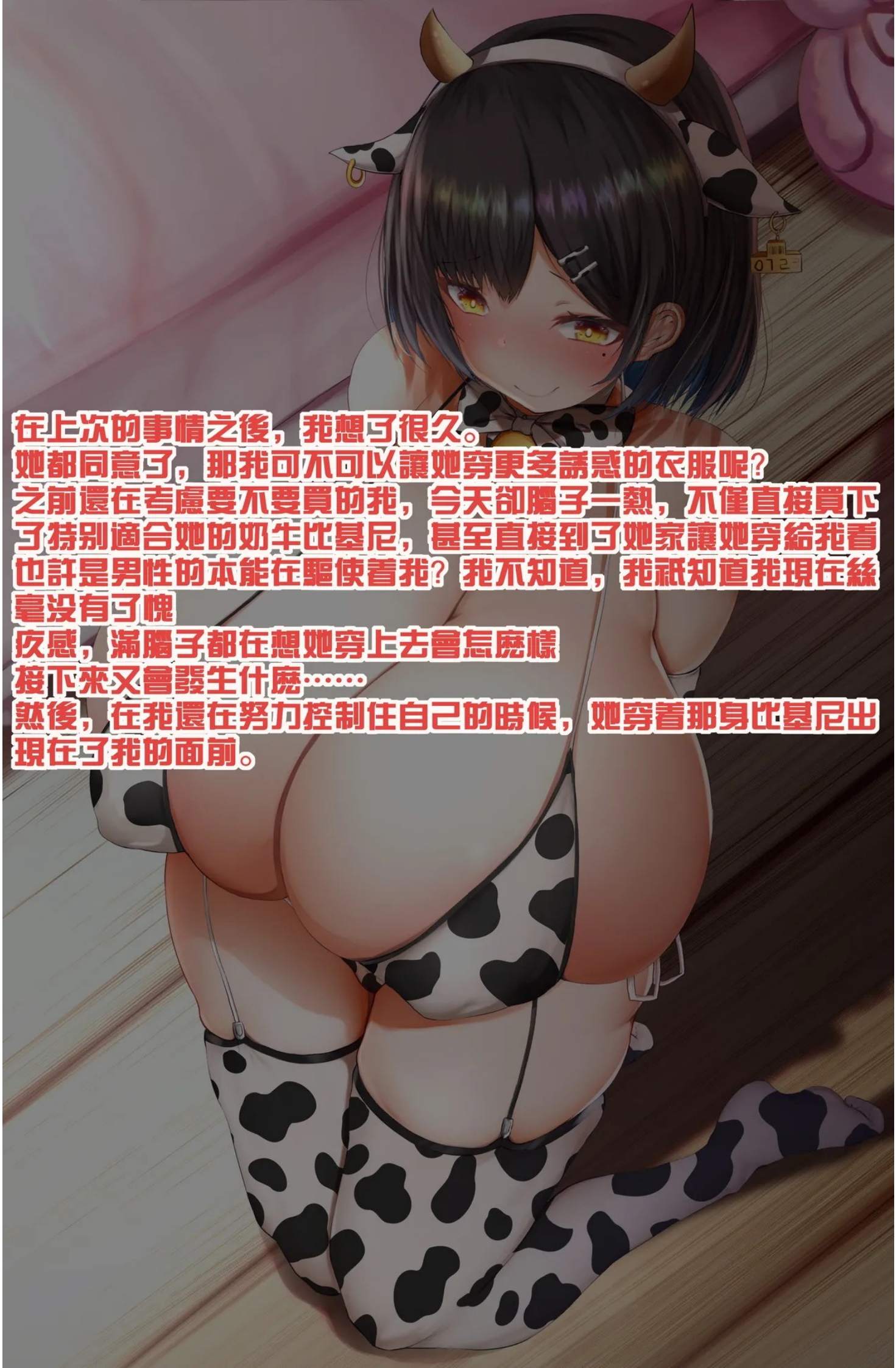

在上次的事情之後，我想了很久。
她都同意了，那我可不可以讓她穿更多誘惑的衣服呢？
之前還在考慮要不要買的我，今天卻腦子一熱，不僅直接買下了特別適合她的奶牛比基尼，甚至直接到了她家讓她穿給我看
也許是男性的本能在驅使着我？我不知道，我祇知道我現在絲毫沒有了愧
疚感，滿腦子都在想她穿上去會怎麼樣
接下來又會發生什麼……
然後，在我還在努力控制住自己的時候，她穿着那身比基尼出現在了我的面前。

前輩～怎麼樣？這身是不是很不錯呢？
雖然有點害羞……但是前輩喜歡的話，我也會很高興哦！

那麼，事不宜遲，趕快進入正題吧～
今天我就是前輩專屬的奶牛啦～來把我積攢著的牛奶親手榨出來吧～
哞～

呀啊～一上來就這麼厲害，前輩真的好色～
手法這麼嫻熟，是提前預習過了嘛？真是太棒了～
再用力一點也可以哦～
ドク
ドク
ドク
ドク

啊嗯！太激烈了啦～真的好厲害，光是想到前輩在揉捏我的胸部我就好興奮——
請繼續做吧前輩！把我的牛奶全部榨出來吧！我快忍不了了——♥
もう
パン
パン
パン
パン

啊啊啊——去了，去了！牛奶全部喷出来了，好多，好爽——
牛奶

怎麼樣，前輩？作爲乳牛我的表現如何呢～
很色？太好了——但是前輩總不會就做到這裏爲止對吧？還有那個沒做呢，
那，個～♥

果然前輩的那個也早已經忍不住了呢，都已經大成這樣了～
作為辛苦榨乳的獎勵，前輩今天想怎麼使用我都可以哦～
今天就好好發泄發泄吧♥

好的～想要乳交的話也可以哦～前輩的身體可真是誠實呢～
今天這對胸部也是祇屬于前輩一個人的哦，盡情地發泄吧～♥
ぷるんっ♥

今天的前輩好厲害——竟然這麼主動，真的好棒♥
想射了嗎？可以哦，在我的胸部小穴裏射出來吧～
ズブ
ズブッ

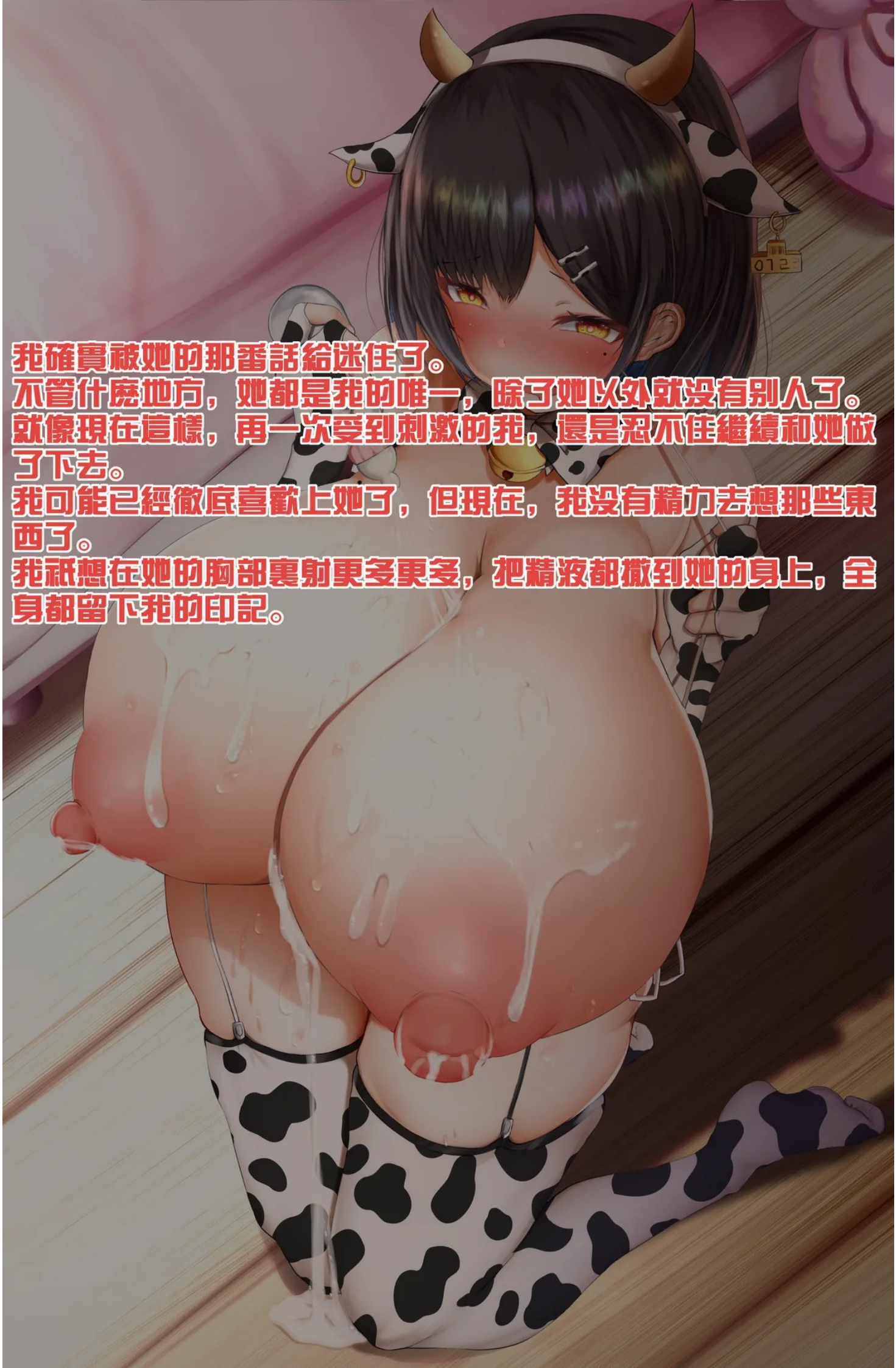
哇啊啊！射了射了！還是一如既往地多～好熱，要裝不下了啦～♥♥♥
ビクビク♡

真是的～都怪前輩射太多，精液都漏掉了啦——♥
但是我不討厭就是了，我還希望前輩能射更多呢，前輩的話一定可以！對吧？
たたっ

——這就要拔出來了嗎？不要啦～人家還想要更多！
難道前輩還在猶豫嘛？真是的！笨蛋！那我就試能用那個了！♥
とろっ
とろっ
たたっ

鋪鋪～猜猜這是什麼？前輩那麼聰明，應該能猜到吧？
沒錯！就是我的乳汁啦～接下來我會拿它做什麼呢～猜猜看？♥

前輩真是個小天才～竟然能猜到我要用這個當潤滑液，獎勵你一個親親——被自己的精液和我的乳汁包裹著進行乳交的感覺，是不是想想就刺激？♥
除了我以外可沒有人給前輩做了哦～


我確實被她的那番話給迷住了。
不管什麼地方，她都是我的唯一，除了她以外就沒有別人了。
就像現在這樣，再一次受到刺激的我，還是忍不住繼續和她做了下去。
我可能已經徹底喜歡上她了，但現在，我沒有精力去想那些東西了。
我祇想在她的胸部裏射更多更多，把精液都撒到她的身上，全身都留下我的印記。

啊嗯～不行啦！一邊乳交一邊玩弄胸部，好激烈～
是不是對我的胸部中毒了呢前輩？如果是的話，就一直這樣做下去吧～
我也想要前輩給我更多～♥

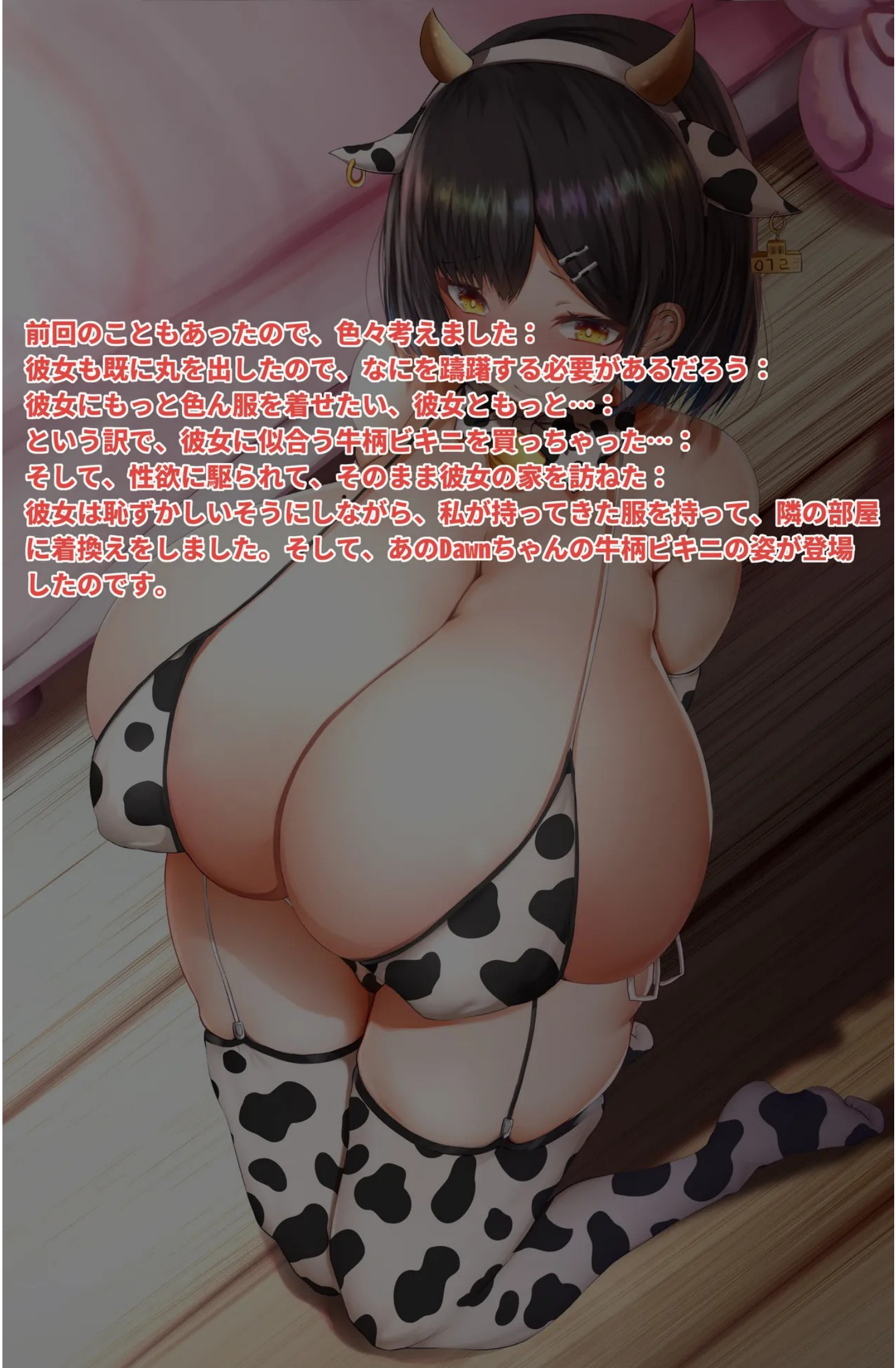
等，等一下！抽插地這麼快，我會受不了的啦～
啊啊不行了！忍不住了！要去了前輩！！！什麼都想不了了——
精液，請給我更多精液！！
全部射出來吧！全部！♥

啊啊啊啊！射了！全都射出來了！好厲害，大腦要停止思考了～～～♥
ビク
ビク
ビク

天啊……前輩，射了這麼多……胸部已經完全被精液蓋住了，真是壯觀～♥

那個……前輩……我已經忍不住了……可以來我的房間嗎……
今晚，就住我家嘛……

她那種誘惑力十足的表情，加上她與平時不一樣的認真的說話態度，讓我猜到了今晚的進展。
看來她也忍不住了，我心裏想，因爲從之前開始我就一直很想與她交合了，但是我一直没有那種勇氣。
但是今天，祇有今天，我感覺我可以跨過這堵高牆。
而且我也不想錯過了。
to be continue...



前回のこともあったので、色々考えました：
彼女も既に丸を出したので、なにを躊躇する必要があるだろう：
彼女にもっと色ん服を着せたい、彼女ともっと…：
という訳で、彼女に似合う牛柄ビキニを買っちゃった…：
そして、性欲に駆られて、そのまま彼女の家を訪ねた：
彼女は恥ずかしいそうにしながら、私が持ってきた服を持って、隣の部屋に着換えをしました。そして、あのDawnちゃんの牛柄ビキニの姿が登場したのです。

先輩～これどうですか…似合うでしょう…
ちょっと恥ずかしいけど…先輩が喜ぶなら私も嬉しいよ！

それじゃあ、早速本題に入りましょう～
今日の私は先輩専属の牛娘ですよ♥
さぁ～先輩の手で私が貯めてたおっぱいミルクを全部搾り出して～
ホロ

あら～初っ端からこんなに激し…先輩ってエッチですね♥
とても上手ですね。もしかして私の知らないところで練習したじゃないですか？
もっ
ガシ！
冗談ですよ♥
もっと力出していいですよ
ナデナデ
ナデナデ

あぁぁぁ、すごい～すごいよ、先輩が私のおっぱいを揉んでいるだけで興奮が止まらない♥
もっと揉んで、先輩！私のおっぱいミルクを全部搾り出して～
もみ
もみ
もみ
もみ

っイクぅぅぅッ…あぁぁぁ…ミルクがいっぱい…気持ち…♥♥
ドク
ドク
ドク
ドク

どうですか、先輩？牛娘の役割ができそう？
すごくエッチ？ならよかった～でも、これだけじゃ終わらないよ。
ア　レ、まだやってないよ♥

こんなに大きくなって、先輩もそろそろ我慢の限界だよね♥
頑張った先輩に、ご褒美として、今日の私は、どんだけ先輩にめちゃくちゃにしても、いいよ♥

やっぱりパイズリがほしいよね…先輩って正直だから♥
今このおっぱいは先輩だけのものだから、思う存分弄ってくれ♥
ムニュッ

何だか今日の先輩、とても積極ですね♥いいよ
こんな先輩も大好きですから♥
そろそろいっちゃう？いいよ、先輩の精
全部私のおっぱいマンコに中出しして♥
ズブブ

わぁぁ～でたでた！相変わらず、量がすごい…熱い…溢れちゃう…
ビクビクッ♡

もう…先輩が出しすぎたせいで、精液が全部溢れたじゃないー！
でも、先輩なら、もっと出せますね♥
たたっ

えぇ？も抜いちゃうの？いやいや、もっと欲しい！
先輩、もしかしてまだ躊躇しているですか？もーバカ！だったら…
とろっ
とろっ
たたっ

ジャンジャン！これ何だと思います？
さすが先輩、私は母乳です♥先輩がくる前に搾った新鮮ミルクですよ♥そしてこれを…

そう！これを使って母乳ローションをしちゃいます！
先輩と精液と私の母乳が組み合わせた最高のローションパイズリの感覚
想像しただけで興奮しちゃうでしょう？私以外誰も先輩にやってあげませんよ～

確かに彼女のその言葉に惹かれました
今みたいに、我慢しようとしたか、やっぱり彼女としたい
俺は多分、彼女に恋をした、けれど今は感情より欲が上
彼女の胸でやりたい、彼女とやりたい、彼女の全身に俺の白い印
を刻みたい。

うあぁ。～ダメ！パイズリしながら乳首を弄るなんて…
先輩は完全に私の胸に依存したね♥私も先輩にもっとしてもらいたいです♥
ヌチ
ヌチ
ヌチ
ヌチ
ヌチ

あぁ、ちょっ…待って、先輩、はやい♥♥
こんなにされたら、もう我慢できない。っイク、先輩
もう何も考えたくない♥
精液、先輩の精液、いっぱいちょうだい～♥
ドピュ
ドピュ
ドピュ
ドピュ
ドピュ

あぁあ、精液がいっぱい！っイクぅぅぅッ…
ビク
ビク
ドク
ドク
ドク

はぁはぁはぁ、先輩の精液…いっぱい…胸がもう見えないよ♥

ねぇ、先輩…今晩、私の家に泊まない？
私はもう…我慢できないよ♥
to be continue...

おっぱい

ドスケベ
ムチムチ
ドスケベ

ドスケベ
ムチムチ
牛ビキニ

ドク
ドク
ドクン
ドクン

ビクビク♡

たたっ

とろっ
とろっ
たたっ